



# Cisco Networking Academy



**長部 謙司**

**Program Manager**

**2009年8月10日**

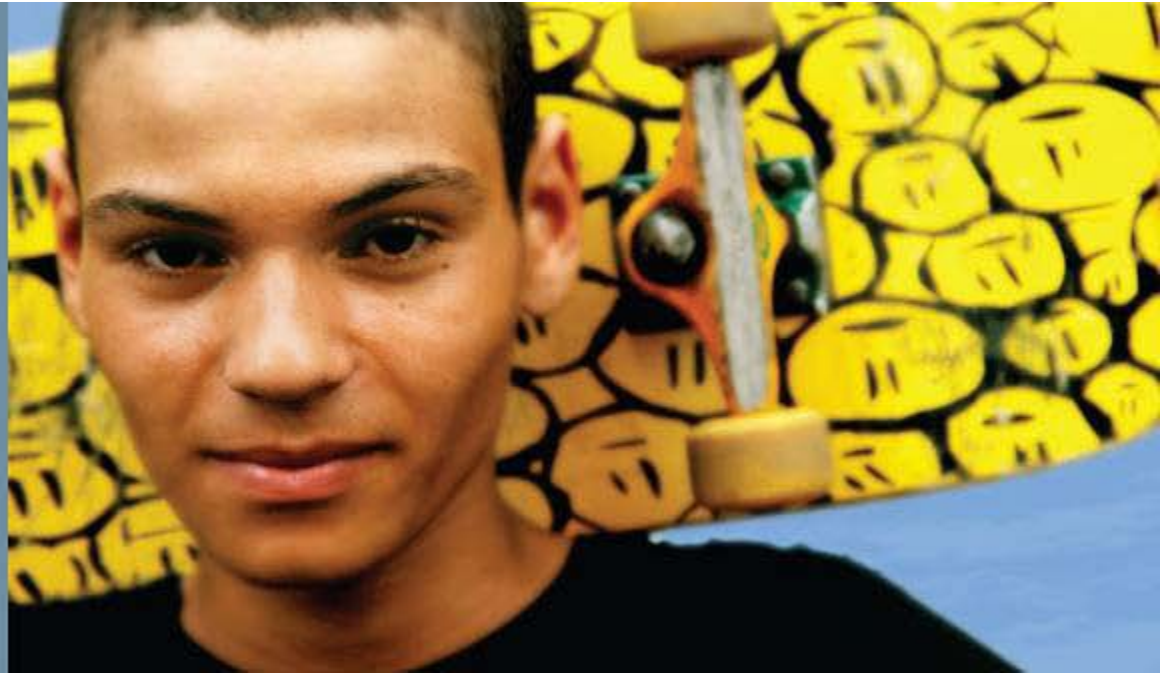
Cisco | Networking Academy®  
Mind Wide Open™



# アジェンダ

- CCNA Discoveryの翻訳
  - スケジュール
    - ターゲットタイムフレーム
    - シスコ技術者認定資格の試験
  - トランジション
    - CCNA 3.1からCCNA Discoveryへ
- NetAcad、新Support & Deliveryモデル
  - 背景
  - タイムライン

# CCNA Discoveryの 翻訳








# CCNA Discoveryの翻訳 スケジュール

- ターゲットタイムフレーム
  - 2010年2月 から2010年3月
  - 2010年4月からは、全ての新授業が、日本語版CCNA Discoveryで開始
  - CCNA 3.1による授業は開始しない
  - CCNA Discovery は、日本語コンテンツと英語コンテンツの切り替えが可能
  - CCNA Discovery の翻訳費用はシスコシステムズが負担
- Certification exam
  - INTRO (640-821J)、ICND (640-811J) 、CCNA (640-801J) は2010年4月30日まで提供延長



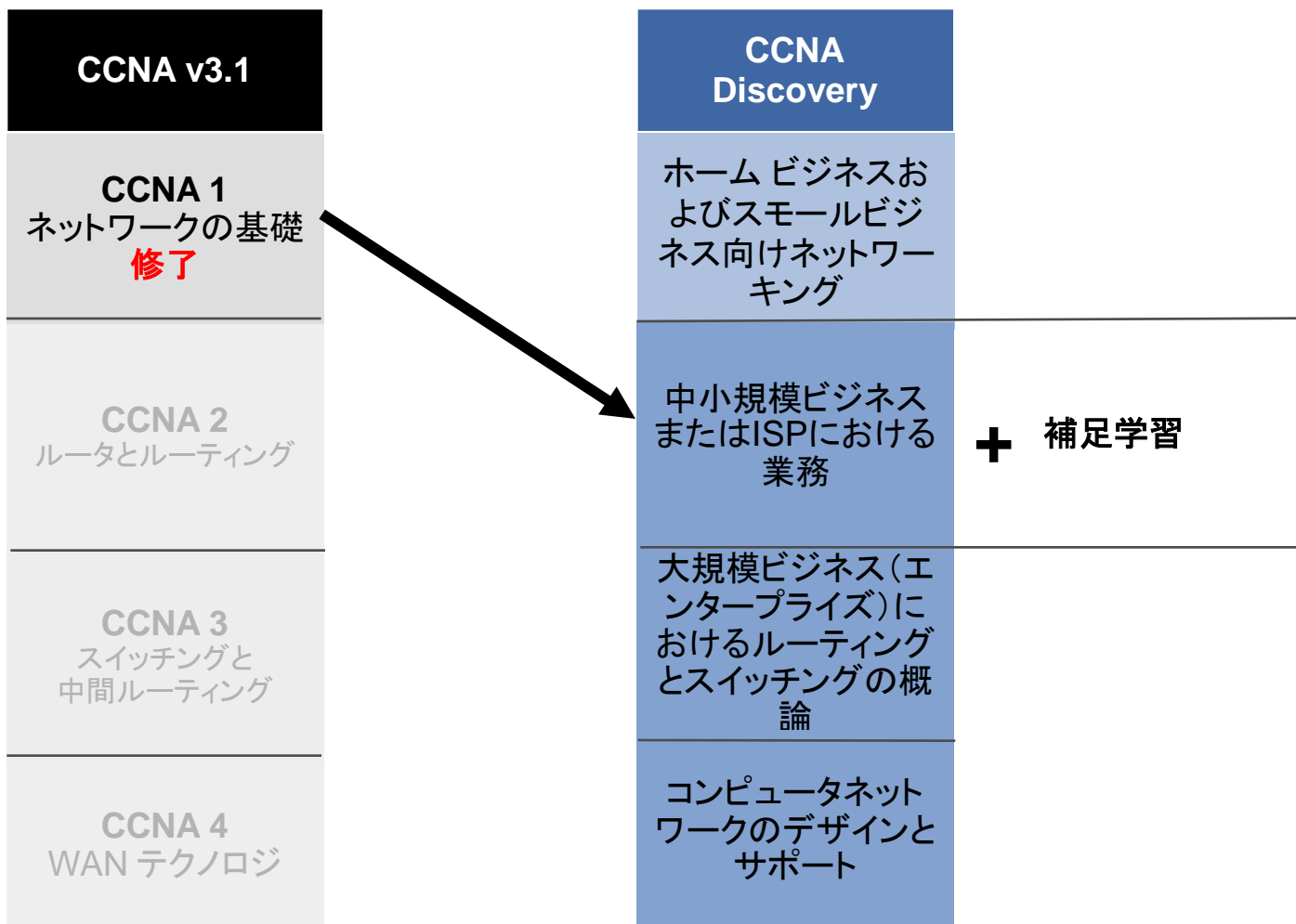
# CCNA v3.1からCCNA Discoveryへの移行

完了	CCNA Discoveryへの移行
CCNA 1 v3.1 	CCNA Discovery 2 + 補足学習*
CCNA 2 v3.1 	CCNA Discovery 3 + 補足学習*
CCNA 3 v3.1 	該当なし (CCNA 4 v3.1を修了して下さい)

\*従前のコースからのチャプター／章

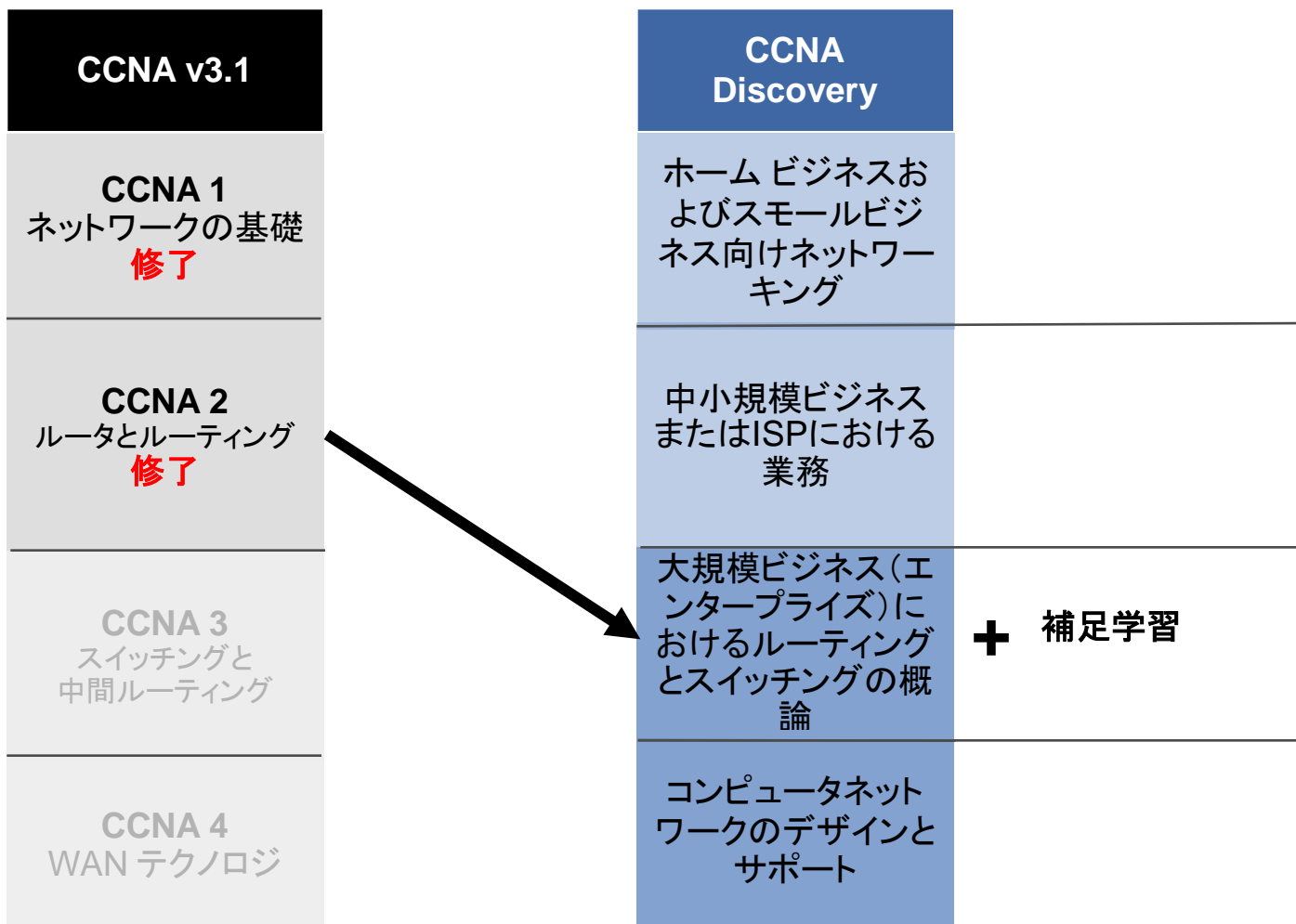


# CCNA v3.1からCCNA Discoveryへの移行ガイドライン





# CCNA v3.1からCCNA Discoveryへの移行 ガイドライン





# CCNA 1 v3.1からCCNA Discovery 2へ移行 CCNA Discovery 1からの補足学習項目

CCNA Discovery 1:ホーム ビジネスおよびスモールビジネス向けネットワーキング			
章	章名	セクション	セクション名 / コメント
3	ネットワークへの接続	セクション 3.5.7	Packet Tracer の使用方法
		セクション 3.6	ローカル ネットワークの計画と接続
4	ISP経由のインターネット接続	セクション 4.2	インターネットによる情報の送信
		セクション 4.3	NOC で使用されているネットワーク デバイス
5	ネットワークアドレッシング	セクション 5.3	IP アドレスの取得方法
		セクション 5.4	アドレス管理
7	無線テクノロジー	すべてのセクション	すべてのセクション
8	基本的なセキュリティ	すべてのセクション	すべてのセクション
9	ネットワークのトラブルシューティング	セクション 9.3	一般的な問題
		セクション 9.4	トラブルシューティングとヘルプデスク



# CCNA 2 v3.1からCCNA Discovery 3への移行 CCNA Discovery 1と2からの補足学習項目

コース	章	章名	セクション	セクション名 / コメント
<b>CCNA Discovery:</b> ホーム ビジネス および スモール ビジネス 向けネットワーキング	3	ネットワークへの接続	3.5.7	Packet Tracer の使用方法
			3.6	ローカル ネットワークの計画と接続
	7	無線テクノロジー	すべて	すべてのセクション
	8	基本的なセキュリティ	すべて	すべてのセクション
<b>CCNA Discovery:</b> 中小規模ビジネス または ISPにおける業務	1	インターネットとその用途	1.3	ISP 接続
	3	ネットワーク アップグレードの計画	3.1.1	サイト調査
			3.2	ネットワークのアップグレード計画
			3.3	機器の購入と保守
	4	アドレッシング構造の計画	4.2	NAT と PAT
	5	ネットワーク デバイスの設定	5.2	SDM を使用した ISR の設定
			5.3.7	DHCP サービスの設定
			5.3.8	IOS CLI を使用したスタティック NAT の設定
			5.4	Cisco 2960 スイッチの初期設定
			5.5.1	CPE の設置
	8	ISP の役割	8.1	ISP のセキュリティに関する考慮事項
			8.2	セキュリティ ツール
			8.3.3	インバンド ツール とアウトオブバンド ツール の選択
8.4.3			Methods of IOS Backup and Recovery – when v4.1 is available	
9	Preparing for Certification	All	All Sections – when v4.1 is available	

New material available in v4.1 →



# CCNA Discovery v4.0 Academy Connection Systemの登録必須条件

	ホーム ビジネスおよび スモールビジネス向け ネットワーク	中小規模ビジネスまたは ISPにおける業務	大規模ビジネス(エンター プライズ)におけるルーティ ングとスイッチングの概論	コンピュータネットワー クのデザインとサポー ト
学習者	特になし  PCに関するリテラシ ーは高いほうが好ま しい	CCNA 1 v3.1  <b>若しくは</b>  ホーム ビジネスおよび スモールビジネス向けネ ットワーキング  <b>若しくは</b>  Networking Fundamentals	CCNA 2 v3.1  <b>若しくは</b>  中小規模ビジネスまたは ISPにおける業務	大規模ビジネス(エン タープライズ)におけ るルーティングとスイ ッチングの概論  <b>OR</b>  Accessing the WAN

# NetAcad、新 Support & Delivery モデル





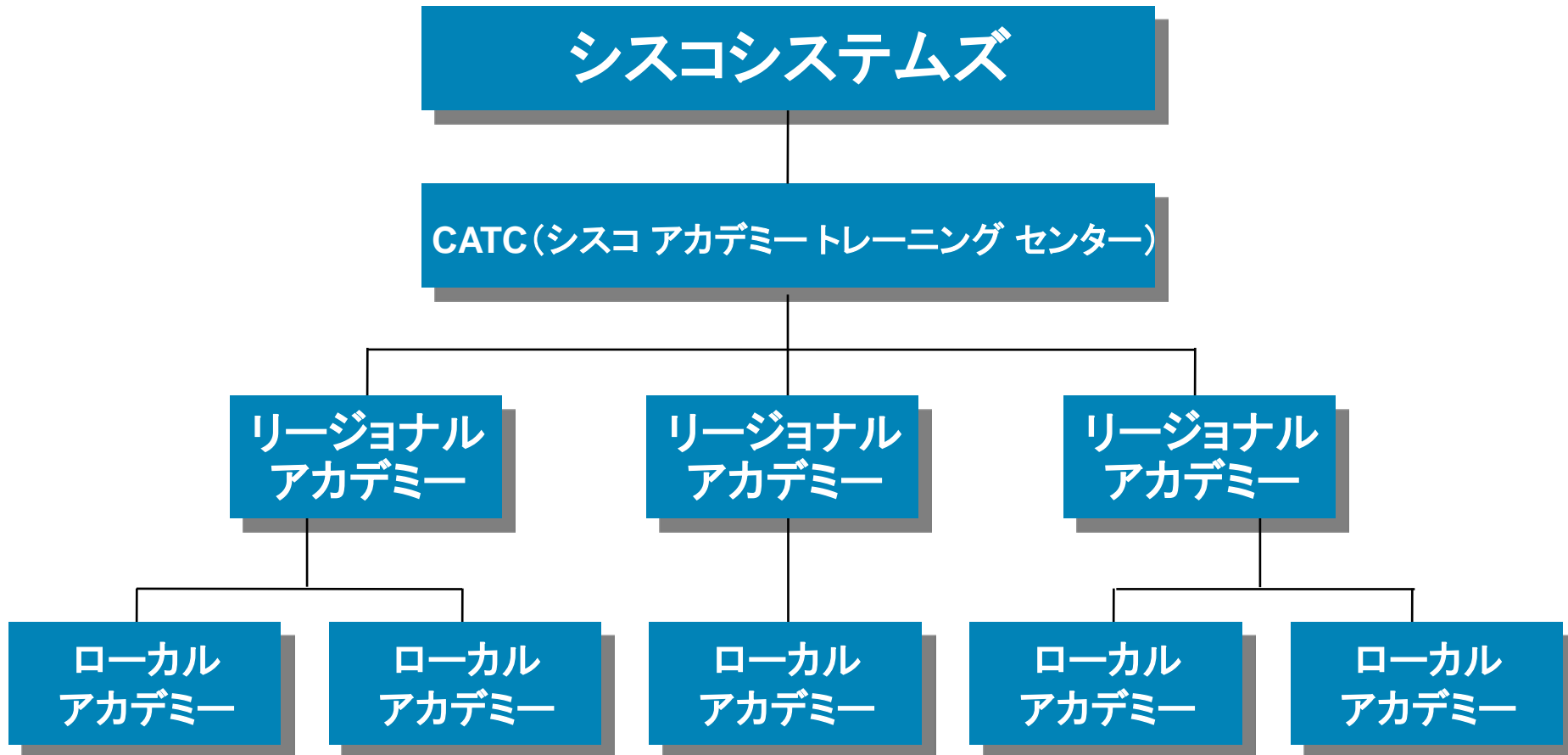
# NetAcad新Support & Deliveryモデル

## 背景

- Cisco Networking Academyは常に進化を続けており、Support & Deliveryモデルを全世界的に改善するための多大な作業が現在進行中
- 新しいモデルへの移行は、より分散型のアプローチを追及するものであり、これにより、さらに確実な運用を目指す。このモデル移行は、全世界的に実施されるもので、継続性を重視する、Ciscoのパートナーに柔軟性をもたらし、地理的なカバレッジを向上させ、さらにコストの面でより効率的なソリューションとなる

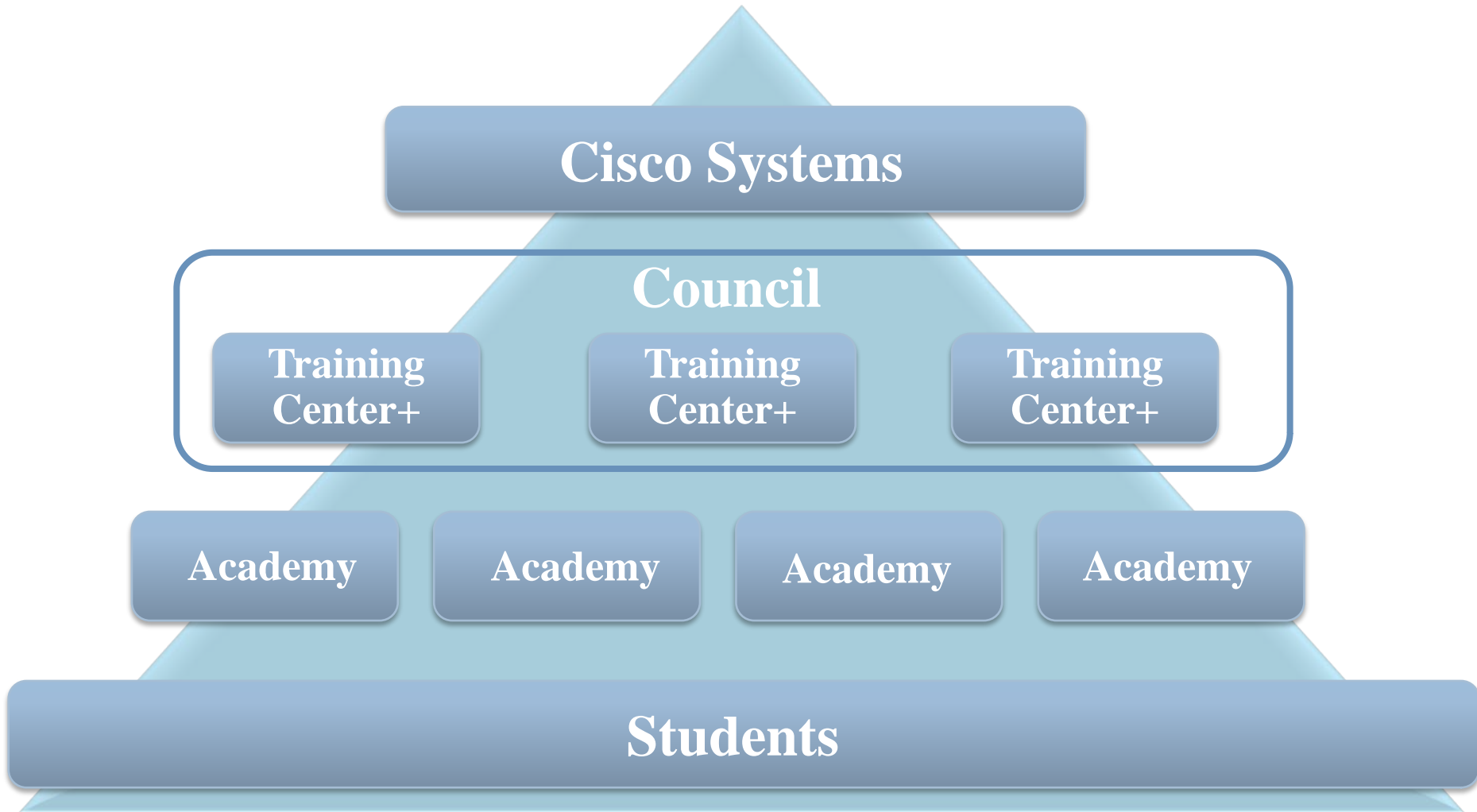


# 現在の運営体制





# NetAcad new Support & Delivery model





# NetAcad、新Support & Deliveryモデル タイムラインとアナウンスメント

- 8月10日
  - 新モデルへの移行を発表
  - モデルチェンジの概要
- 9月28日の週
  - 移行計画の発表
- 11月1日
  - 新Support & Delivery modelスタート

QA



# Cisco | Networking Academy<sup>®</sup>

Mind Wide Open<sup>™</sup>

